



## 渡辺華山没後一八〇年

### 記念事業を開催

令和三年十月十一日、郷土の偉人である憂国の先覚者、渡辺華山先生がその生涯を閉じてから一八〇年を迎えました。

公益財団法人華山会では、この没後一八〇年を記念して、開国前夜の黎明期にあつて、近代日本の夜明けを願って活躍された華山先生の功績を市民の皆様と共有するため、令和三年十一月二十四日に、田原文化会館において、記念講演を開催しました。

また同日、田原中部小学校の協力を得て、児童の皆さんによる華山劇を公演していただきました。

### ○記念講演

記念講演には、歴史プロデューサー・六龍堂代表 早川知佐氏を講師にお招きし「幕末志士、渡辺華山―海の向こうをみた男―」と題しまして講演をいただきました。

早川先生には、華山先生の魅力や功績をわかりやすくお話をしていただきました。



講師 早川知佐氏  
「幕末志士、渡辺華山―海の向こうをみた男―」

### ○華山劇公演

田原中部小学校の児童の皆さんには、二年生と五年生による劇「板橋の別れ」、六年生による舞踊「花と茨」、三年生と六年生による劇「立志」を公



板橋の別れ



立志

演していただきました。

中部小学校の華山劇は、合唱劇となつており、昭和二年から約100年に渡り、学芸会で上演され受け継がれてきた伝統ある劇です。

講師の早川先生も大変感動され、全国的にみても、素晴らしい財産であり大事にしていきたいと高い評価をいただきました。今回このように一緒に開催できましたことは華山会にとっても大きな喜びでした。

### ○記念品・「立志」背景幕の贈呈

令和四年三月十五日、華山没後一八〇年の記念事業に際し、華山劇の公演に協力をいただいた田原中部小学校へ、当日の劇を収録したDVDと「八勿の訓戒」が書かれたクリアファイル、華山会から、華山劇「立志」の背景幕を華山神社奉賛会から贈呈いたしました。



幕末の時代にあつて海の向こうをみていた、つまり広い視野を持って世界に目を向けていた華山先生の生き方は、今でも私たちにたくさんのお話を教えてくれます。

華山会では、今後とも渡辺華山先生のすばらしい人格や功績を次世代に継承し、未来へつないで参りたいと思います。